

の場面でうまくいなくても。失敗も迷いも前に進んでいくためには必要不可欠なステップです。

一見、意味のないようなことや、こんなことをして大丈夫かと思うことなど、マイナスにしか思えないことでも、実は自分にとって重要な意味があるということを実感します。今、何か問題に直面していたとして、それが解決できるかもしれないし、残念ながら解決できないかもしれません。しかし、それを解決しようと真面目にコツコツやり抜いた経験や過程というのは、後になって自分の生きる力となり、支えとなり、財産になるのです。

一人の人間が経験できることは限られています。ではどうするかです！質の良い小説や映画にふれ疑似体験をすることです。名作であれば、登場人物の感情や葛藤があらわになっていますので、読みながら新たな気付きがあり、悩みや不安が消えることがあります。

恐れや不安は人間に備わっている本性です。変化や失敗を恐れずにやってみる。停滞したり後退したりするときもあります。それも長い目で見れば必要なプロセスの一つです。

安心、安全は人間の知恵！

車椅子バスケットの体験学習



1年生が福祉体験学習として、車椅子バスケットの体験学習を実施しました。講師は、堺市にある大阪府立障害者交流促進センターから来て頂き、車椅子も準備して頂きました。通常の子供用とバスケケット競技用の車椅子との違い、ルールを学

習しました。車椅子バスケケットは、障害の程度を点数化、5人の合計が14点で実施します。その後実際に車椅子に乗り、車輪を操作しながら前後に進めることや、車椅子の回転、ストップの基本的な動きの体験をしました。車椅子からシュートにも挑戦しました。実際の車椅子

バスケットの試合を楽しみました。慣れてくるとルールを守りボールをゴール下まで運びシュートにつなげていました。ただ、下半身が使えないのでロングパスのコントロールができず、またボールのキャッチもできずコートから出る場面が多くありました。シュートが入ると、観覧している生徒から大きな歓声とともに拍手が沸き起こっていました。試合の終わった生徒からはもう一回やりたいという声も上がっていました。



生徒の感想を紹介します。「・この学習により、障害者の方は、毎日苦勞して生活していることが分かりました。・障害者スポーツは、「楽しく」「安全」にできるようになっていることを知りました。安心してできるようになっているのは人間の知恵であります。・障害者の人だ

からできないでなく、誰でもできるようにできているのが素晴らしい。・障害をもってもいつも笑顔でできるようなスポーツがもっと増えればいいのと思う。・様々な立場からの視点を増やすため、色々な人の体験、考え、思いを聞いてみたい。・「バリアフリー」とは、社会全体が取り組まないといけない」と書いていました。

このような実体験を重ねることにより、障害者へのサポートが自然とでき、垣根のない社会をつくることにつながると講師の方も話をされました。

表彰者の紹介

日本書芸術振興団主催の第23回全日本学書展に出品した1年生の金原優太君が朝日放送賞を受賞しました。表彰式は2月1日(日)、大阪産業創造館で開催されました。

日	曜	行事	日	曜	行事
1	日		15	日	
2	月	生徒会選挙公示	16	月	公立高校前期出願(3年3時間) 給食(1,2年のみ)
3	火	☺	17	火	☺公立高校前期出願(面接・実 技等) 職員会議
4	水	1年進路学習(5,6時限) 職員会議	18	水	☺
5	木	☺	19	木	☺生徒会選挙公示
6	金		20	金	☺
7	土		21	土	
8	日		22	日	
9	月		23	月	☺
10	火	☺私立高校入試(3年のみ3時 間)給食(1,2年)	24	火	☺公立高校前期選抜(3年のみ3時 間)、給食(1,2年)
11	水		25	水	1,2年学年末テスト、給食(3年) 3年(5時限)
12	木	☺黙動清掃	26	木	☺
13	金		27	金	3年生進路懇談、3年(4時限) PTA決算総会、クリーンアップ作戦、 1,2年保護者対象進路説明会
14	土		28	土	

※3月の主な行事:13日(金)卒業式。24日(火)修了式。

※1月の異物混入数4件(髪の毛2件、ビニール片1件、ご飯粒の変色1件)

